

市町村税徴収率、平成以降最高を更新！

令和元年6月21日

これまでの県・市町村連携による徴収強化の取組等と、市町村の徴収努力により、平成30年度の市町村税徴収率は97.6%と、15年連続で前年度実績を上回り、平成に入って最高を更新しました。

市町村全体の徴収率の更なる底上げを図るため、令和元年度も引き続き市町村との連携により下記の取組を推進します。

○ 市町村税徴収率、前年に引き続き平成以降最高を更新！

平成30年度市町村税決算状況 [速報]

市町村税収入額：1,554億2千万円

(対前年度比+0.2%、2億5千万円増)

徴収率：97.6% (対前年伸び率+0.4ポイント)

(15年連続徴収率アップ
最も低下していた平成15年度比で+6.3ポイント)

→ 平成15年度の徴収率のままと仮定した場合と比べて約100億円の増収効果

○ 県・市町村連携による税収確保の取組を推進します！

1. 「おおいた徴収カレッジ」開催 (主催：公益財団法人大分県自治人材育成センター)

28年度から実施の「おおいた徴収カレッジ」では、県と市町村の徴収職員が徴収のノウハウを学び、自治体間のネットワークを強化するという目的の下、県外先進団体等から講師を招き、実践的な研修を行っています。

・初任者コース(6/5~7)、リーダー養成コース(6/13~14、20~21)、マネジメントコース(7/9~10)

2. 市町村職員の相互併任制度の拡大

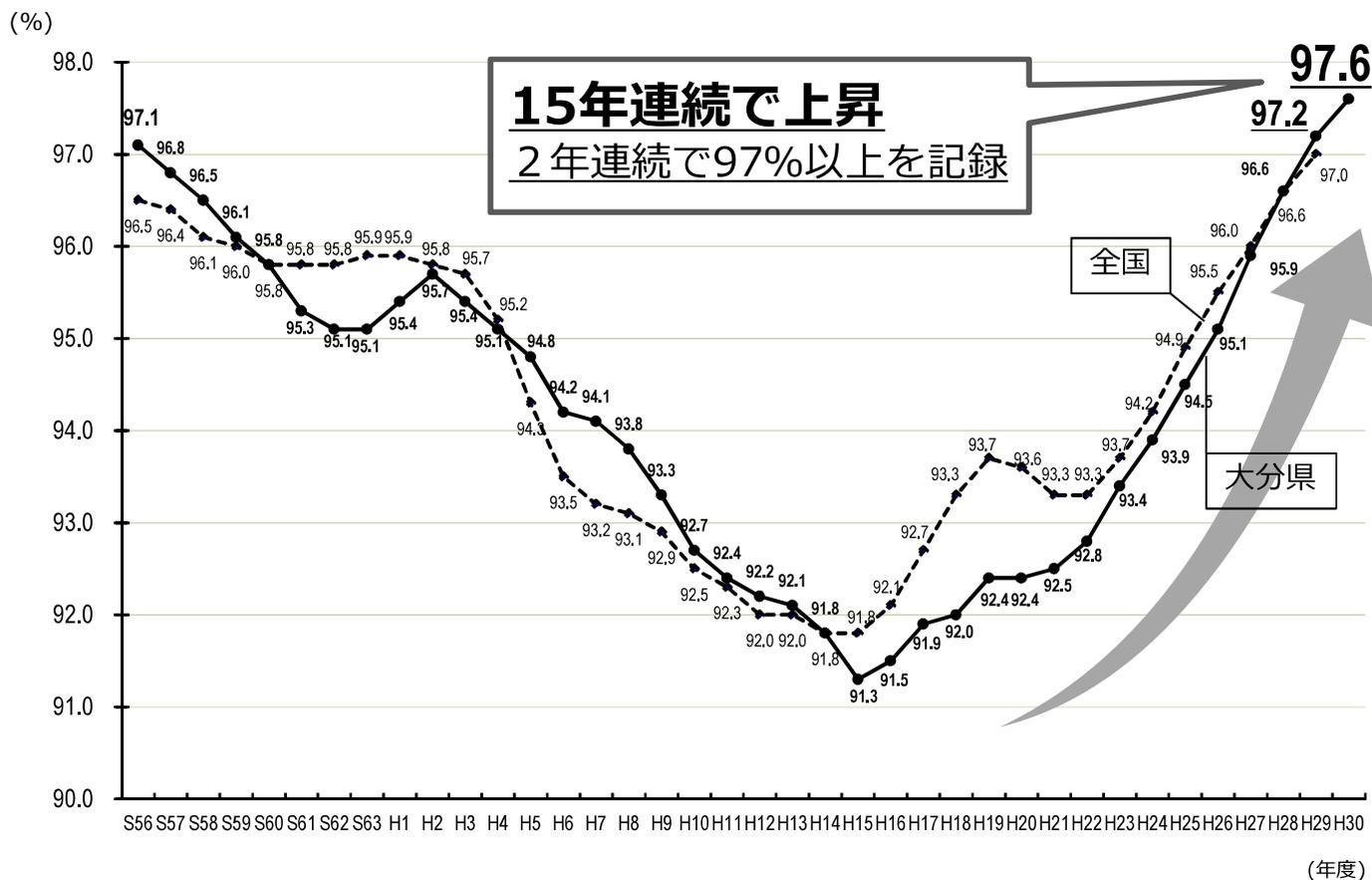
28年度から実施している市町村間の職員の相互併任を拡大(13市町→14市町)し、捜索等の滞納処分や、困難事案の検討等を協働して行います。

さらに、県も職員派遣による支援を行うことで、職員のスキルアップ、徴収技術の円滑な承継を図り、徴収率の向上を目指します。

・相互併任制度を活用している市町(14市町)

別府市、中津市、日田市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町

◆市町村税徴収率の推移について (全税目計、現年分・滞納繰越分合計)



◆市町村別の徴収率について

・市町村税徴収率 (全税目計、現年分・滞納繰越分合計)

(参考) 主要税目の徴収率 (現年分・滞納繰越分合計)

区分 市町村名	市町村税徴収率 (%)		
	30年度	29年度	伸び率 (29→30)
大分市	99.3	99.2	0.1
別府市	95.6	95.3	0.3
中津市	96.8	96.3	0.5
日田市	96.6	95.5	1.1
佐伯市	95.5	95.0	0.5
臼杵市	93.8	93.2	0.6
津久見市	95.6	95.1	0.5
竹田市	95.2	94.3	0.9
豊後高田市	97.5	97.2	0.3
杵築市	93.0	91.1	1.9
宇佐市	97.3	97.2	0.1
豊後大野市	96.3	95.9	0.4
由布市	95.2	94.9	0.3
国東市	96.9	95.4	1.5
姫島村	97.6	97.5	0.1
日出町	95.2	94.1	1.1
九重町	94.6	94.5	0.1
玖珠町	95.4	95.1	0.3
県計	97.6	97.2	0.4

区分 市町村名	主要税目徴収率 (%)	
	住民税	固定資産税
大分市	99.2	99.4
別府市	95.8	94.7
中津市	97.0	96.6
日田市	97.1	95.7
佐伯市	95.6	95.0
臼杵市	94.2	93.1
津久見市	94.9	95.7
竹田市	95.9	93.8
豊後高田市	97.1	97.6
杵築市	94.8	91.2
宇佐市	98.1	96.3
豊後大野市	97.0	95.3
由布市	94.6	95.0
国東市	97.5	96.2
姫島村	99.9	94.4
日出町	96.7	93.0
九重町	96.2	93.9
玖珠町	96.8	93.3
県計	97.7	97.2